

見事な美しいバラに囲まれたお家

5月14日(土)／高野団地（大字下高野）

下高野の中村さん宅では、たくさんのバラの花が咲き誇っていました。平成18年からバラが咲いている色々な場所へ足を運び、研鑽を積み、退職後に本格的にバラを育て始めました。たくさんのバラの花は、心を豊かにし、幸せいっぱいになりました。

（広報特派員 渡辺 光子）



美しい舞に魅了されました

4月20日(木)／福正院（大字下野）

杉戸七福神に連なる福正院にて、インド舞踊家伊藤さんによる舞が披露されました。初めて見る美しい舞に魅了されました。

（広報特派員 渡辺 光子）



富岡町へのアクセス

- 常磐自動車道「常磐富岡IC」
- JR常磐線「富岡駅」「夜ノ森駅」



富岡町マスコットキャラクター
とみっぴー
町の鳥、セキレイの妖精
富岡町のPRにどこでも飛んでいきます！



問合せ 住民協働課
国際化・交流担当

に発生した東日本大震災からの復興・復興に全力で取り組んでいます。富岡町の様々な情報をこの『フレンドタウン富岡掲示板』を通してお伝えしていきます。

フレンドタウン 富岡掲示板



平成22年に杉戸町と友好都市協定を締結した町です。現在は、平成23年3月11日現在、復興に全力で取り組んでいます。富岡町の様々な情報をこの『フレンドタウン富岡掲示板』を通してお伝えしていきます。

富岡町桜まつり2022が開催されました

4月9日(土)・10日(日)に国内友好都市である福島県富岡町にて、「富岡町桜まつり2022」が開催されました。

富岡町は桜の名所として知られており、会場である桜並木では空いっぱいに桜が広がりました。

東日本大震災および福島第一原子力発電所事故により、桜並木のある夜の森地区の大半が帰還困難区域となり、過去に開催した「富岡町復興への集い」「富岡町桜まつり」では通行規制のフェンス越しにしか桜を見ることができませんでした。震災から11年が経った今年1月の特定復興再生拠点区域の規制緩和により、「富岡町桜まつり2022」では震災後初めて、全長2.2キロの全域で桜を楽しめるようになりました。

参加した古谷町長は開会にあたり、「一步一步着実に歩みを進めている富岡町と共に歩き、後押しし続ける」と述べ、友好都市としての決意を新たにしました。



3月下旬／リノベーションスクール@杉戸 スピンオフ企画

「ローカルクエスト」完成！

令和3年度に行われた「SUGITO LOCAL TRIP」は、普段は何気なく見過ごしてしまう、杉戸町にちりばめられて眠っている小さな資源を見つけ出し、参加者自身の視点・見立て方で、なんでもない日常を楽しみ、それを等身大の新しい地図にまとめあげる参加型ワークショップです。

路地裏や空き店舗に入るディープなまち歩きWALK TRIP、杉戸の約6割を占める豊かな「農」を体感する自転車旅BIKE TRIP、見つけた資源を地図に落とし込む編集会議CREATIVE TRIP。

これらの3つの旅程を終え、新しい地図「ローカルクエスト」が完成しました。「ローカルクエスト」は、参加者が「自分独自の杉戸の楽しみ方」を提案する記事となっています。決められた楽しみ方をする「消費者」ではなく、自分たちで楽しみ方を見つけて提案する「生産者」となる、等身大の地図づくりから様々な活動につながり、さらなる広がりを見せています。

市街地整備推進室

日常を冒険し、僕らの地図をつくる旅



5月8日(日)／泉公民館美化活動

利用者の力で公民館をきれいに！

泉公民館でサークル団体による美化活動が行われました。日頃、泉公民館で活動をしている団体から13名の方々に、公民館の花植えや草取り、清掃等をしていただき、見違えるほどスッキリきれいになりました。

公民館



花植えだけでなく、清掃等にもご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

5月13日(金)／車椅子寄贈

車椅子を寄贈いただきました

国際ロータリー第2770地区第6グループ様より、車椅子を寄贈いただきました。

杉戸町社会福祉協議会



（写真左から）細井様、長谷川様、古谷町長、門脇副町長

車椅子は住民への貸出用として利用されるほか、町内の小・中学校での福祉体験学習などで幅広く活用されます。

4月7日(木)／手作り防護服の寄贈

手作り防護服を寄贈いただきました

杉戸町赤十字奉仕団様より、「ポリ袋」と「養生テープ」で製作された「手作り防護服」50着を寄贈いただきました。町内の認知症高齢者グループホーム等で、新型コロナウイルス感染症の感染予防に役立てて欲しいとの意向を受け、町内にある4事業所に配布をしました。

高齢介護課



（写真左から）戸田副委員長、古谷町長、長岡委員長、小山副委員長

町長コメント：「誰でも製作できる防護服の取組は素晴らしいものです。このような取組が広がりを見せて、コロナに負けないアイデアや活動が増えたらと思います。」

4月21日(木)／防災資機材寄贈

防災資機材を寄贈いただきました

埼玉県電気工事工業組合春日部支部様より、避難所で防災資機材として活用できる「プライベートテント」「ポータブル電源」「エアーマット」を寄贈いただきました。

危機管理課



（写真左から）春日部支部宮田様、伊藤支部長、古谷町長、門脇副町長